

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年 7月20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300666
法人名	有限会社 イーライフ
事業所名	グループホーム 明
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町3982-1 (電話) 0994-43-0550
自己評価作成日	平成28年5月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成28年6月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成15年に開設し、現在平均介護度4.5と重度化してきている。医療的ニーズの高い利用者も増え主治医や協力病院、訪問看護と連携をとり迅速な対応が取れる体制づくりが出来ている。ホームでの「看取り」を希望される家族も多く、利用者・家族にとってより良い最後を迎えて頂けるよう全職員研鑽に努めている。又外出、外食等個々の状態に合わせた支援も行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【理念について】

理念にそったケアが実施されているグループホームである。生活時間も利用者のペースに合わせて進んでいる。理念に「認知症になっても普通の生活を・・・」とあり、関係者全員で実践している。

【重度化した場合の対応に係る指針】

指針はとても分かりやすく、細かく記載され、医療との連携、各職種の役割が明記され、家族にも説明しやすい様式になっている。

【看取りについて】

医療機関との連携、職員の研修も実施され、看取りの機会が増えつつある中で他の事業者から依頼を受けて支援する利用者もあり、地域からの信頼と実績を兼ね備えた事業所である。

【食事について】

「いつまでも経口摂取ができるように」との思いで、咀嚼、嚥下が難しい方には、お茶ゼリー、エンシュアゼリーなどを利用し、職員全員で試行錯誤しながら取り組み、工夫を重ねている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	安心、安全で穏やかな暮らし、健康で温もりのある暮らしが送れるように地域と共に支え、支えられながら明るく生活が送れるように理念を揚げ共有しサービスを提供している。	前回の外部評価後、理念について職員で見直しを行い検討した結果、現状に即しているということで、継続していくことになった。理念の一部がユニット名にもなっており、利用者、家族、職員、事業所に十分周知が図られている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会にも加入し地域の行事、奉仕作業等へ参加をしている。又敬老会や避難訓練等への声掛けを行い日常的に交流行えている。	地域との関わりは多彩で、自治会からの回覧板などで情報を得て、行事に参加し交流を深めている。奉仕作業への参加、地区の総会等の会場の提供、近隣小学校の認知症についての勉強への出席は恒例になっており、ゲームなどを通じて利用者との継続した交流を図っている。日常的に家族や地域の方から野菜などの差し入れあり、地域の一員として根付いている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ホームの行事等に招待しその際介護相談にのっている。又民生員との連携も取れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回多種多様の職種の方々に参加をお願いし、ホームでの行事報告など行っている。又困難事例への助言や意見等伺いサービス向上に活かしている。	今年度より、行政側の協力で事業所ごとに運営推進会議の日程を年間で計画し、開催している。運営推進会議での提案をもとに、非常口の段差をスロープに改善し、また建物の回りの側溝の整備も行われている。課題については積極的に意見交換をして、様々なアイデアをいただきサービス向上につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要時には、市の担当者へ連絡し相談やアドバイス等受け協力関係を築いている。	運営推進会議にも参加して頂き、日頃より連絡・相談等を通じて連携し、関係を築くように努めている。包括支援センターの移転の文書に当事業所のスナップ使用が検討されており、市と協力関係を築いている。市、包括支援センターなどの協力のもと、困難事例の解決に至ったこともある。グループホーム協議会が主催している研修会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束に関する研修に参加したり、職場での勉強会を開いたりしている。又身体拘束委員会も立ち上げている。	利用契約書等で身体拘束をしないケアについて説明するとともに、身体拘束廃止委員会や毎月のケア会議等でも繰り返し話し合い確認している。やむを得ず、医療行為上行う必要がある時は、家族の理解を得て、経過を記録し評価も行っている。また、家族会においても身体拘束に関する講話を行い、職員は研修を重ね、自己研鑽も積極的に行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	外部研修に参加したり、職場でも研修を実施し虐待のないケアに努めている。又職員同士言動が適切か話し合いも行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修や勉強会に参加し知識、向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	重要事項説明書で契約、解約の説明を行い家族の理解、納得がもらえる様に努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	常に家族への聞き取り、要望等を伺っている。又意見箱も設置しそれらの意見も取り入れ運営に反映している。	家族会の参加率は高く、意見などを聞く良い機会となっている。遠方の家族には利用者の近況報告、行事等を事業所の広報紙「あきら便り」で知らせる情報交換をしている。家族から申し出のあった意見などは、毎月のケア会議や毎日の申し送り、あるいはその都度検討し、結果を報告している。非常口のスロープは職員会議からでた意見でもある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月代表者を交え会議を開催し職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。	管理者は職員が意見を言いやすい環境を作り、だされた意見はケア会議等で検討し、内容に応じて対応しており、必要時は、オーナーに上申している。日頃より職員の思いを大切に、皆で真剣に取り組み多くの意見を出し合い、より良いケアとなるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	勤務希望を取り入れ働きやすい環境作りを行っている。又パート5名を除き全職員常勤にて常に環境や条件等の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会への参加の機会を確保し、ミーティングや会議の場で報告し情報を共有することで一人ひとりのスキルアップに繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との情報交換を行ったり、研修の場等で交流を図ったりとネットワーク作りに努めサービス向上に繋がる様取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前や入所時に本人や家族へ希望、要望、不安等を伺い安心してサービスを開始できるよう努めている。又情報提供表も参考にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族への聞き取りにて情報を集め、適切なケアが不安なく開始できるような関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族が希望、必要としているサービスが可能かを見極め又、それを踏まえたケアが行えるような柔軟な対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共有の空間にて、食事や、お茶又家事等一緒に行うことで暮らしを共にする者としての関係作りを築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族ならではの協力や支援を無理のない程度でお願いし、共に支えている関係作りを築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム外に出かける事が困難な利用者が多い為、面会時は会話がゆっくり行える空間作りに努めている。	入所時は本人や家族などからの情報で、入所後は関係性を築くなかで、日常会話の中から馴染みの人や場、想いを把握している。友人・知人との面会に配慮したり、郵便局等も本人が希望する馴染みの場所に職員が同行している。花見など全員で出掛ける行事にはご家族の協力も得られており、歩行の難しい利用者については、車椅子対応のリフト車を使って外出できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	居室で長時間過ごす利用者が多いため、体調や状況を見て孤立しないようにホール誘導行ったり、又居室では、テレビやラジオ等使用し孤独を感じないような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してからも、施設へ面会に出かけたり家族から電話等で相談があった場合には、適切な支援や助言が行えるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの個性を尊重し、出来る限り希望にそった暮らしが出来るよう努めている。又困難な利用者の場合は、状態や表情等で把握に努めている。	日常的に生活の中でサインに注意を払い、行動から本人の思いや希望をくみ取っている。申し送り時に報告し職員全員が情報を共有し、介護計画・経過記録等に残している。家族の面会時・家族会の際に今までの環境などの情報収集を行い、個別に対応を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に情報収集を行い、生活歴や生活環境等これまでの暮らし方の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの身体状況や健康面を考慮し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回ケア会議を開催し、現状に即したケアが行えているか確認の機会を設け、計画に反映させている。	ケア会議、モニタリング時に、担当者から報告を受け、必要時は意見を出し合い、検討している。計画は個別性と出来ていることを大切に組み入れて、個々にあったケア内容となっている。入院等に伴う状態の変化時には、計画の見直しや認定の区分変更の検討を行い現状に即した計画をたてて実施し、モニタリングを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日中、夜間と個別に様子を細かく記録し特記事項は、申し送りノートや評価表等へ再度記録し情報を共有し実践や計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人、家族にとって最善の選択が行えるよう対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が安心して豊かな暮らしができるように地域資源を把握し支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望を聞きながら最善の治療が受けられるように支援行っている。	かかりつけ医・在宅診療所との連携が築かれており、訪問診療、受診の支援を行っている。受診内容は家族へ適切に報告を行い、業務日誌に記録し、申し送り時に職員で共有している。往診医から『在宅療養計画書』にて情報提供を受けている。利用者の重度化に対応するための職員研修も積極的に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回の訪問看護師の訪問時に、状態や変化等を報告し、日々の関わりの中でも変化を見逃さずに必要時には適切な受診や訪問看護が受けられるように支援を行っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>協力医療機関とは密に連絡を取り、相談や情報交換を行い利用者にとって最善の環境で治療に専念できるような関係作りができています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から家族の意向は聞き、主治医や訪問看護を交え治療方針を確認する話し合いの機会を設け、事業所で行える支援に取り組んでいる。</p>	<p>『看取りの指針』の説明を入所時に行い、同意を得ており、状態の変化時には関係者で話し合いを行い、利用者・家族の意向を確認しながらチームで支援に取り組んでいる。看護師の配置と共に在宅医、協力医療機関との強力な連携のもと、職員の看取り体制を構築している。看取りに関する研修会を繰り返し行い、レベル向上への意識も高い。リフト車も2台所有し、緊急時の対応に活用している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>一人ひとり状態や状況を把握し、急変や事故発生時に備え適切な対応が行えるように日頃から、看護師や訪問看護から学んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練や消防署や地域の消防団、地域の方を交え火災時の訓練は行っている。又火災以外の自然災害時は、全職員避難方法はマニュアルや会議で話し合っている。</p>	<p>夜間想定を含む災害訓練を地域住民も交え5月、10月に実施している。自衛消防団があり、主に火災時の避難誘導や避難経路の確認、利用者の見守り、防災シャッターなど施設内の見学をお願いし、万が一に備えている。居室のドアのマグネットを外せば避難の有無が一目で確認できるよう工夫されている。食料の備蓄は約1週間分が確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者一人ひとりの人格の尊重、プライドを損なわない声掛けを心がけ対応している。又オムツ交換時等は必ず扉を閉めて行うよう徹底しプライバシーの確保も行っている。	倫理や接遇を含む認知症関連研修は、年間勉強会予定に4回組まれて実施されており、個人情報保護への配慮も大切にして支援している。排泄時の声かけ、排泄チェック表の管理等にも気を配り、利用者の尊厳を尊重したケアの実施に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話から思いや、希望をくみ取り自己決定ができるように支援行っている。又会話が出来ない利用者については、家族に伺ったり、瞬きや手を挙げてもらったりと可能な方法で行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日頃の生活パターンを把握し、無理のない程度でレクリエーションや散歩等行っている。又会話の中から希望にそった過ごし方の提供が行えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	家族へ、自宅で過ごしていた時に着用していた衣類を持ってきてもらったり、本人にあった色合いや好みの色の服の購入行っている。又身だしなみは、職員が常に気をつけ支援行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	自ら食事が行える様、器や食事形態を工夫している。又可能な利用者にはお盆拭きや食材の下ごしらえを行いながら、「どんな料理をしますか」等話をしながら希望の食事を作ったり支援行っている。	栄養バランスに配慮しながら、利用者の食べたいものを大事にして献立を作成し、食べやすく調理している。日常の食事にも季節感が味わえる工夫があり、近隣の方からの差入れなども、有効に活用している。3時のおやつも職員が手づくりするように努めている。2ヶ月に1回、参加可能な利用者に手伝って頂いてそば打ちを行い、運営推進会議の参加者との昼食を一緒に楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分摂取量は必ず記録し必要な量の確保を行っている。又必要時には主治医へ食事量や水分量を確認し状態に合わせ提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後や必要時には必ず口腔ケアを行っている。又経口摂取出来ない利用者に関しては、小まめに舌苔除去や乾燥を防ぐためのワセリン塗布等し清潔を保持している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ使用可能な利用者に関しては、自らの訴え時や排泄簿、時間誘導にてトイレでの排泄を促している。又オムツ使用の利用者も同様で、排泄簿や必要時には交換行っている。	排泄チェック表を活用して個人の排泄パターンを把握することでリハビリパンツやおむつを外すことに成功している。全員が布パンツとパットだけで過ごすというケアを実践し、排泄用品のコストも押えている。個々人の排泄パターンについては細かく全職員が把握しており、排泄に関する勉強会も計画的に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録を利用し、一人ひとりの排便パターンの把握に努めている。又利用者に応じては、運動や牛乳等使用し便秘の予防に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	原則として毎日入浴を行う事としているが、体調を考慮しその時々にあった入浴の支援を行っている。	要介護5の方でも、入浴して全身洗身で清潔保持に努めている。体調や皮膚疾患等に応じて足浴や清拭に切り替えるなど適切に対応し、入浴拒否の方には言葉掛けの工夫、時間や介助者の変更など利用者の負担にならないように配慮している。入浴が利用者の楽しみ、爽快感、リラクゼーションを提供する場になっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの状態や状況に応じゆっくり過ごせ、休めるよう支援行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書等で、目的や副作用等理解している。又状態変化時や必要時には主治医へ相談している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や出来ることを活かし歌やカルタ取り裁縫等への支援、又年間を通じて気分転換が図れるよう行事を組み支援行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	自ら訴える事が出来ない利用者が多い為、声掛け行い園外散歩や外食等行っている。散歩時には近所の方から声をかけてもらったりとできる支援をもらっている。	主な外出が年間行事予定に組み込まれており、その中で施設外、園庭、催し物などに向いている。また、家族や退職した職員の協力をもらいながら、個別の支援を日常的に実施している。歩行の難しい利用者には、車椅子対応のリフト車で出かけたり、利用者個人の希望する美容院、買い物に職員が同行するなど可能な限り利用者の希望にそった外出支援に努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持は行っていないが、ホームが側が預かり金とし保管し必要時にはそこから使用している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人の希望時は電話をしたり、家族からの電話があった場合は取り継いだり、又手紙が届いた場合代読し居室に掲示している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、カレンダーや月々に応じたを飾りを行っている。又外気を取り入季節感してもらえよう支援しカーテン等で光が眩しくないように居心地よく過ごせるよう工夫もしている。	2ユニットがほぼ左右対象になっており、玄関は広く出入りしやすい構造になっている。玄関には職員の写真、勤務表が掲示してあり、家族への気配りが感じられる。換気を心がけ、光量を調整できるカーテンを使用するなど匂いや採光等に配慮し、季節感のある飾り物や畳み敷きの共有スペースが設置され、居心地のよい空間となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファやテーブル等を活用しながら思いおもいに過ごせるよう工夫行っている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の写真や家族との写真、家族からの贈り物等居室に飾り居心地よく過ごしてもらえるよう工夫している。</p>	<p>ベッドとタンス、クローゼット、エアコンは備え付けである。利用者は使い慣れた好みのもを持ち込み、また担当の職員が自立を促しながら衣類の整理、季節を取り入れた環境整備を利用者とともに、生活しやすい居室作りを支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりを使用し、居室やトイレまで安全に移動できるよう工夫している。又バリアフリーになっている為リクライニング車椅子や普通型車椅子も安全に移動ができる生活が送れている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	安心、安全で穏やかな暮らし、健康で温もりのある暮らしが送れるように地域と共に支え、支えられながら明るく生活が送れるように理念を揚げ共有しサービスを提供している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会にも加入し地域の行事、奉仕作業等へ参加をしている。又敬老会や避難訓練等への声掛けを行い日常的に交流行えている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ホームの行事等に招待しその際介護相談にのっている。又民生員との連携も取れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回多種多様の職種の方々に参加をお願いし、ホームでの行事報告など行っている。又困難事例への助言や意見等伺いサービス向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>	<p>必要時には、市の担当者へ連絡し相談やアドバイス等受け協力関係を築いている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する研修に参加したり、職場での勉強会を開いたりしている。又身体拘束委員会も立ち上げている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部研修に参加したり、職場でも研修を実施し虐待のないケアに努めている。又職員同士言動が適切か話し合いも行っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>研修や勉強会に参加し知識、向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>重要事項説明書で契約、解約の説明を行い家族の理解、納得がもらえる様に努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>常に家族への聞き取り、要望等を伺っている。又意見箱も設置しそれらの意見も取り入れ運営に反映している。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月代表者を交え会議を開催し職員の意見や提案を聞き運営に反映させている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>勤務希望を取り入れ働きやすい環境作りを行っている。又パート5名を除き全職員常勤にて常に環境や条件等の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修や勉強会への参加の機会を確保し、ミーティングや会議の場で報告し情報を共有することで一人ひとりのスキルアップに繋げている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との情報交換を行ったり、研修の場等で交流を図ったりとネットワーク作りに努めサービス向上に繋がる様取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前や入所時に本人や家族へ希望、要望、不安等を伺い安心してサービスを開始できるよう努めている。又情報提供表も参考にしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との面談には時間をかけ、困ってる事や不安事、要望等が解決できるよう信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者と家族が必要としているサービスが利用可能な場合説明行い、柔軟な対応が行えるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共有の空間にて、食事や、お茶又家事等一緒に行うことで暮らしを共にする者としての関係作りを築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族ならではの協力や支援をお願いし、面会や行事等で一緒に過ごせる場所の提供を行う等し共に支えている関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホーム外に出かける事が困難な利用者が多い為、面会時は会話がゆっくり行える空間作りに努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し、孤立することなくいたわりあって生活できるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了してからも、施設へ面会に出かけたり家族から電話等で相談があった場合には、適切な支援や助言が行えるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	常に、一人ひとりの希望や意向に沿った暮らしができるように本人本位で検討行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に情報収集行い、生活歴や生活環境又、入所後には普段の会話等で聞き取りしこれまでの暮らし方の把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの身体状況や健康面を考慮し現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回ケア会議を開催し、現状に即したケアが行えているか確認の機会を設け、介護計画に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日中、夜間と個別に様子を細かく記録し特記事項は、申し送りノートや評価表等へ再度記録し情報を共有し実践や計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人、家族にとって最善の選択が行えるよう対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人が安心して豊かな暮らしができるように地域資源を把握し支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望を聞きながら最善の治療が受けられるように支援行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護師の訪問時に、状態や変化等を報告し、日々の関わりの中でも変化を見逃さずに必要時には適切な受診や訪問看護が受けられるように支援を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関とは密に連絡を取り、相談や情報交換を行い利用者にとって最善の環境で治療に専念できるような関係作りができています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階から家族の意向は聞き、主治医や訪問看護を交え治療方針を確認する話し合いの機会を設け、事業所で行える支援に取り組んでいる。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	一人ひとり状態や状況を把握し、急変や事故発生時に備え適切な対応が行えるように日頃から、看護師や訪問看護から学んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の避難訓練や消防署や地域の消防団、地域の方を交え火災時の訓練は行っている。又火災以外の自然災害時は、全職員避難方法はマニュアルや会議で話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレ使用時やオムツ交換時はカーテンや扉を必ず閉めプライバシーの確保を行っている。又人格を尊重した声かけを心がけて対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	思いを表したり、自己決定のできない利用者が多い為、日頃介護する中で、表情や少しの動き等で汲み取る努力はしている。又、思いを伝える事のできる利用者に関しては、思いに沿った支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	身体状態を確認しながら、無理のない程度で、ホール誘導や食事介助等を行っている。又レクリエーション等は参加の声かけ行い希望された時には参加できるよう支援行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身だしなみ、おしゃれはできない利用者が多いため、ボランティア散髪にてその人らしい髪型にしてもらう等少しでも喜びがあるような支援は行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者一人ひとり出来ることを確認しながら可能な手伝いを行ってもらっている。又、好みの食事等会話等から把握し提供できるように支援行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立、材料表を利用し、一日の食品摂取バランスの確保に努めている。又一人ひとり食事、水分摂取量の記録を行い不足が生じないように支援行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアの声かけ、準備、介助、見守り又口腔ティッシュを使用したり一人ひとりに応じた支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	オムツ使用の利用者でも、Pトイレ介助おこなう等一人ひとりその時々にあった排泄介助を行っている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便記録を利用し、一人ひとりの排便パターンの把握に努めている。又運動や腹部マッサージ、必要時には主治医へ相談し内服、浣腸にて便秘予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	原則として毎日入浴を行う事としているが、体調を考慮しその時々にあった入浴の支援を行っている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの体調や状態に合わせて、居室やソファークッション等使用し安心して休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の説明書等で、目的や副作用等理解している。又状態変化時や必要時には主治医へ相談したり薬剤師へ質問等行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力を活かし、家事手伝いやレクリエーションへの参加、ボランティア散髪や慰問の踊り等気分転換になるような支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望に応じ買い物へ出かけたり、家族との外食等積極的に協力をもらい支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の所持は行っていないが、ホームが側が預かり金とし保管し必要時にはそこから使用している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望時は電話をしたり、家族からの電話があった場合は取り継いだり、又手紙やメールが届いた場合代読し居室に掲示している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間には、ひと目で分かるカレンダーや季節にあった飾りを掲示し季節を感じて貰えるよう工夫している。又窓を開け風を感じてもらったり居心地のよく過ごせる工夫は常に行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールでは、テレビが観やすい場所へソファを置き時には横になって観たり、又利用者同士や職員と会話行うときには目の前に座ってもらったりと居場所の工夫は行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	誕生日や家族との写真等コルクボードに飾ったり、又ぬいぐるみや人形を置いたり居心地よく過ごしてもらえよう工夫している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者のニーズに合わせ、ソファーに座ったり、横になったりテレビを観たり、書き物や読書等され過ごされたりと一人ひとり自立した生活が送れるよう工夫している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない